

## 後藤正夫先生を悼む

平成 12 年 1 月 29 日当学会の名誉会員後藤正夫先生が逝去されました。

筆者は古くより先生の警咳に接し、先生が大分大学の初代学長時代に OR の非常勤講師を勤めさせられたり、その後大分県の財界や医師会の人々と先生の集まりである「未蓄会」の末席を汚させて頂く等々とお世話になりました。以上のような経緯もあり、今回先生の弔辞を述べさせていただきます。

日本に OR が伝来した終戦の混乱期から既に半世紀が過ぎ去ろうとしております。当時米英には OR という手法を使って大いに戦果に貢献したと言う情報は書籍に散見されましたが、その詳細に付いては判明しませんでした。当時行政管理庁統計基準局に在職されていた先生は職掌柄海外の統計関係の情報に目を通して居られましたが、逸早く OR の重要性に囁かれ、OR に関する情報を収集されると共に先生の膝下に在ったグループの人達とその研究を始められました。これが日本における OR の始まりです。先生は〔日本の OR 揺籃期〕における大先達としてこのグループの人達と共に OR を育て上げられました。

昭和 32 年に日本オペレーションズ・リサーチ学会が発足すると共に先生はその拡充に力を尽くされ、議員となられた昭和 51 年まで三度の副会長を始めとし、監事、理事等々と役員を歴任されました。

官庁統計の総元締めとして統計基準局局长を最後に官界を去られ故郷大分に帰られた先生は、故山に国立大学が創設されるや初代より 3 期 8 年間学長を勤められました。この大学には「エネルギー」や「環境」と云った当時では新しい分野の学科が設立されましたが、これは「OR 的発想に基づくもの」との話を伺った事があります。

先生の父君は戦前の後藤文夫文部大臣であった関係で任期半ばにして大分より参議院選に出馬、当選され、以後 3 期選出されました。その間平成元年第一次海部内閣の法務大臣に就任され、平成 2 年議員を引退されました。先生が政界に出られた以後終生陰に陽に学会を支援して頂きました。



先生と雑談中偶々話題が〔OR は難しすぎる〕事に及んだ際「OR は理論ではありません。OR の根元はオペレーション即ち実践に在るのです」と静かな口調で話された事を今も思い出します。

日本 OR の先覚者の足跡を偲び、先生の温顔を思うと一抹の寂しさを禁じえません。ご冥福をお祈りし、  
擲筆いたします。 (原野秀永)

### 故後藤正夫氏略歴

大正 2 年 6 月 18 日生れ  
昭和 12 年 3 月 横浜高等工業学校電機化学科卒業  
昭和 34 年 1 月 行政管理庁統計基準局長就任  
昭和 43 年 1 月 大分大学学長就任  
昭和 51 年 10 月 参議院議員被選出 以後 3 期当選  
平成 元年 8 月 第一次海部内閣法務大臣就任  
平成 2 年 2 月 退任  
平成 2 年 4 月 勲一等瑞宝章

### 〔OR 学会関係〕

評 議 員 昭和 32～43 年度、昭和 46～50 年度、  
平成 4～5 年度  
監 事 昭和 32 年度  
副 会 長 昭和 37～38 年度、昭和 45～46 年度、  
昭和 50～51 年度  
表彰委員長 昭和 50～51 年度  
フ ェ ロ ー 昭和 39 年度  
名 誉 会 員 平成 7 年度